



感謝を込めて力の限り

In thanks, we do our best.



TEIKYO
UNIVERSITY

SPORTS OFFICIAL YEARBOOK

2012

BASEBALL

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012 BASEBALL

帝京大学 硬式野球部

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012



BASEBALL

帝京大学硬式野球部

イヤールック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長

帝京大学 学長

冲永 佳史

2011年度は本学硬式野球部にとり、一つの転換期となりました。長年コーチを務めてこられた唐澤良一新監督を先頭に一致団結、『首都大学秋季リーグ(1部)』におきましては、平成20年春季以来の第2位と順位を上げました。

その後、明治神宮大会出場を懸けた『関東5連盟代表トーナメント』でこそ、全国ベスト4となった創価大に惜敗しましたが、先発メンバー10名中、3年生以下が8名と下級生が大半を占めるチームであっただけに、今季の貴重な経験となりました。

昨シーズンよりデザインを一新したユニフォームを身にまとい、全国の舞台で本学硬式野球部が暴れまわってくれることを心より祈念し、イヤールック発刊の挨拶とさせていただきます。

学校法人帝京大学 法人事務局長

帝京大学 硬式野球部OB会相談役

前田 憲正

本学硬式野球部が創設された当初は、練習環境もままならないような状況でしたが、部員たちはとにかく野球が好きで、日々の練習に工夫を凝らし鍛え上げられ、創部わずか5年で首都リーグ1部優勝を勝ち取りました。

時代は昭和から平成に移り変わると、9年の秋にはベストナイン9人中本学が5人を独占し、3度目の優勝。当時のメンバーには現在の秋山満コーチも名を列ねましたが、チームを束ねる唐澤良一監督（東芝で日本選手権優勝を経験）と二人三脚となり、今シーズンも『心技体』揃ったチーム作りを目指し、強化に励んでおります。

「学生たることを忘れては、われらの学生野球は成り立ち得ない」。日本学生野球憲章の精神を忘れず、新たな伝統と歴史を刻んでくれることを楽しみにしています。

帝京大学 八王子キャンパス事務長 強化クラブ室 室長

古張 隆

今季の本学硬式野球部は、加美山晃士朗君・石川健君、左右の両4年生エースを中心に新チームスタートから好調が告げられ、とても楽しいシーズンとなりました。また、新たに25名の精鋭が加わった1年生も例年以上に楽しい素材が揃い、チーム内の競争も激化しています。

昭和39年に産声をあげた『首都大学野球連盟』に、本学硬式野球部が加わったのはその3年後。これまで春1回、秋2回の1部優勝を果たしてきましたが、その“可能性”という意味では近年になく高まっています。

勝負事は蓋を開けてみないとわかりませんが、日頃培った成果を存分にグラウンドで発揮し、我々を全国の檜舞台・神宮球場に導いてくれることを期待します。

帝京大学 八王子キャンパス 学生サポートセンター

グループリーダー 強化クラブ室 副室長

山崎 正

「一振りでサヨナラ勝ち」の試合もあれば、「一失投でサヨナラ負け」の試合もある。接戦ゲームは、試合終了まで勝敗の行方が分からない。白熱した試合は、応援に力が入る。

一昨年の入替戦で勝ち残った本学硬式野球部は、部員全員が苦い経験を味わった。唐澤監督体制となり、その後チームを再建し、昨年の首都秋季リーグで2位まで押し上げた。

首都大学リーグには強豪校が揃い、リーグ戦は熾烈な戦いが予想される。しかし、本学の戦力は強豪校に負けない力があり、今年は4度目の優勝のチャンスがある。得点力の向上が鍵!『優勝』を合言葉に練習に励み、チーム力の底上げを図り、明治神宮大会出場を目標に精進してほしい。





感謝

すべての人へ 2012

報恩





「自主、自立、自覚」。
これらができる選手を
育てていくのが務めです。



Ryoichi Karasawa

唐澤良一

Interview!

監督
帝京大学硬式野球部

チーム作り 2人作り
燃える熱血漢

帝京大学硬式野球部監督に就任して2年目。自身も部のOBであり、監督就任前は12年間コーチを務めるなど、長年にわたり帝京大学硬式野球部の伝統を守り続けてきた。視線の先にあるものは、はるか遠く、限りなく高みではあるが、日々学生たちとともに歩む道は堅実で、厳しくも愛情に満ちた信念があった。

人が育てば、
結果はついてくる

「この試合で勝つことが君たちの目的じゃない。君たちの目的は4月14日から始まるリーグ戦で勝つことだから」

今年3月14日に行われた帝京大学対読売ジャイアンツのプロアマ交流戦の試合後、勝った帝京大学硬式野球部の唐澤良一監督は、前述の言葉を述べて、歡喜する学生たちの心を引き締めた。

ミーティングが終わると、そのまま球場に居残って約2時間のシートノック。自分たちの本

分を忘れないようにと、全学生がしっかりと汗を流してから球場を後にした。

「いつも言っていることだけど、ユニフォームを着ている選手だけでやっているんじゃない。常に自分がその場に入ってもいいように、心と体の準備はおきなさい」

この日、主将の山内一徹は、試合終了までグラウンドに立つことはなかったが、昨年までチームの中心で戦ってきた主将でさえも、スターティングメンバーからはずされる。これもメンバーだけでなく、チーム全体の士気を高める唐澤流のやり方だ。

今年の唐澤は「優勝」の二文字を決して選

手の前で口にしていない。

年明けのチーム始動の際も「挨拶、返事、反応」、「報告、連絡、相談」の計6つを徹底するようにと学生たちに伝えるだけに留めた。

「僕はいいチームになれば自然と結果はついてくると考えています。だからこそまずは人作りが大切です。社会人チームが練習試合に来たときでも『帝京は強いな』『いい選手がいるな』とか選手力の部分で感心されるのではなく、『この学生はみんなしっかりしているな』とか『客人への対応も丁寧でいいな』とか『挨拶も気持ち良くやっているな』とかそういう部分を、チーム全体で見てももらえるような硬式野球部にしていきたいと考えています」

そこにはコーチ時代から13年間、このチームを見続けてきた唐澤なりの信念が感じられる。

高い意識で
競い合えるチームに

シーズン前の春季キャンプでも、チーム内のルールを厳しく取り締まった。

朝の体操に遅れた学生がいたときは、その学生をグラウンド内に入れず、一日中走り込み。他の学生に対する見せしめでは決してないが、周りの学生に「これじゃダメなんだ」と理解してもらえないように、あえて厳しく接している。

「キャンプは学生たちを遊びに連れてきているわけじゃないんです。レギュラーと同じ土俵を全員に与えて、そこで全員が競い合う場なんです。そりゃあ厳しくやりますよ」

もちろん学生たちを預けている保護者たちも、この方針について賛成している。

学生たちが将来、社会に出たときの準備期間と考えれば、これくらいのルールの徹底は当然かもしれない。

その一方で毎日の練習を真面目に続けてきた学生に対しては、ひとつの褒美として、その年最初の紅白戦や、最初の練習試合でスタメン起用を行うなど気配りを欠かさない。鉛と鞭を使い分けることによって、学生たちの士気を高めようと唐澤はあの手、この手をいつも考えている。

学生同士で
問題を解決させる

家族から単身離れた神奈川県相模原市にある硬式野球部の合宿所で、唐澤はコーチ時代から学生とともに生活を続けていた。

監督として上からものを言うばかりではなく、少し目線を下げて学生と話をする。ときには、学生の前でわざとトシをふんで、学生から突っ込まれるのを待っていることもあるという。「学生の誰かに気付けてもらいたいというのがあります。最近の学生は晩熟な子が多いので、何かに気付いても、後ろの方で『どうする、どうする』と躊躇している子が多いんです。そうではなくて、自分から上の人間にどんな意見を言える、そんなチームにしていきたいんです」

唐澤は昨年も学生たちに「自主、自立、自覚」の三つを事あるごとに口にしていた。その効果は徐々に見え始め、グラウンド内では学生同士が厳しい激を飛ばし合い、そこには上級生、下級生の垣根を超えたチームワークが生まれつつあった。

主将を務める山内一徹はこう話す。
 「前までは仲間がミスしたら、かばい合いをするような場面もあったんですけど、今はミスが出る時『おい、今は違うだろう』とか悪い部分を指摘し合える雰囲気になってきました。そういう流れはチームにとってすごく良い流れだと思われ、これを続けていきたいです」
 ときには言葉の度が過ぎて、学生間で険悪な空気になることもある。しかし、そんなときは主将の山内が間に入ってその場を緩和する。
 「言われた選手に対してはプレーで見返してやれと言っています。言われた選手も心の底では分かっているのです。その場は怒ってもそれを引きずったりはしませんね」(山内)
 監督が口を挟まなくても、学生間でチーム内の問題を解決する。唐澤が目指す「大人の野球」。「大人のチーム」が徐々に完成に近づいてきた印象を受けた。
 昨年のリーグ戦、そして関東地区大学野球選手権大会を戦ったメンバーが数多く残っていることも、もちろん大きい。
 「(特に関東地区大学野球選手権大会は)リーグ戦とは違う雰囲気、本場の一発勝負の中での戦いだったので、学生たちも良い経験になったと思っています」
 試合は0対3で創価大学に敗れた。しかし、この試合に出場した10人中8人が現四年生以下の学生。
 彼たちの合言葉は今年のリーグ戦を勝ち抜いて、再び神宮の芝を踏むことであり、そのために必要なトレーニングをこの冬、自らに課してきた。監督が「優勝」の二文字を口にしなくても学生たちの士気は高まっている。



STRONG HEART

どんな選手にも
 評価すべき点がある。
 その個性をチャンスに
 してほしい。

Ryoichi Karasawa

社会人野球のセガサミー・西詰嘉明監督は、唐澤と同じ大阪府出身の43歳で唐澤の人物をよく知る人物の一人だ。
 「一言で言ってしまうばかりの熱血漢だと思えます。自分もその点では人に負けてない自負がありますが、彼はそれ以上に熱くなるタイプ。学生は幸せだと思えますよ」(セガサミー・西詰監督)
 唐澤は、学生相手のミーティングで「目配り、気配り」の言葉をよく口にしている。しかし、それは唐澤自身が学生と接するにあたり、一番心がけている事柄であり、メンバーに入れない学生も常に視線の先に入れている。
 「素行の悪いダメな学生に」もういいよと突き放してしまうのは簡単です。でも、こんなところまで監督は見てくれているんだとか、こんなことしちゃったけど、それでも自分にチャンスをもたらえるんだとかね、そういう部分も常に考えています。本当に性根の悪い学生って、実は一人もいないんです。たまに場をわかまえず、度が過ぎてしまう学生がいますが、そんな学生でも必ずひとつは良いところがある。そこを見逃さないようにしたいですね」
 そう語る眼差しはかつて帝京大学硬式野球部でプレーした自分自身とも向き合っているように思えた。

からさわ りょういち
 1969年生まれ。大阪府出身。
 上宮高校→帝京大→東芝(内野手)。
 帝京大のOBで1999年から12年間コーチとして帝京大学硬式野球部を指導。2011年より監督に就任し、チームの強化にさらに力を注いでいる。



あきやま みつる
 1977年生まれ。大阪府出身。
 大阪金光第一高校(現金光大阪)→帝京大学→西多摩クラブ。2011年から唐澤監督を支えるため帝京大学硬式野球部のコーチに就任。

共に成長し築き上げた1年。

秋山満 Interview!

帝京大学硬式野球部 コーチ

帝京大学硬式野球部のコーチに就任して、今年で2年目になりますが、その中で一番に感じるのが選手の好不調を見分けられるようになったことですね。学生が一番良い状態のときも見ていますし、少し悩んでいる状態も見ています。そこで私が、昨年よりの確なアドバイスを与えられるようになったのが個人的に一番大きいと思います。

最近では、学生からも私に直接、聞いてくることが増えました。ただ、私の考えで1から10まで学生にこうだと教えるのは避けたいです。まずは本人に考えさせて、やらせてみて、最終的に「これは、どうなんですか?」という質問に一言、二言アドバイスをするようにしたいんです。

その点で今年は、今まで学生同士である意味かばいあつていたチームが、学生同士で言いあいができる、指摘しあえるチームに変わってきました。さらに、グラウンド内もそうですけ

ど、合宿所生活や学校生活においてもしっかりと指摘しあえる関係に変わってきたと思うので、これは良い傾向だと感じています。
 特に副主将になった長崎は、昨年と違って副主将としての自覚を感じます。今年の春季合宿でも前半、教職課程の関係で不在だった主将の山内に代わって、チームを引っ張ってくれました。

もう一人の副主将である瀧も、後輩に洗濯物を頼むのではなく、すべて自分でやるなど、今年の四年生は下級生の良い手本になっていますし、本当に変わったと感じます。

そこに、下級生からの突き上げがより激しくなればもっと良くなると思っています。今年、は力のある一年生がたくさん入ってきています。彼らがチーム内競争を激しくしてくれれば、確実に強いチームに変わっていくはず。

あとは技術的にも精神的にもしっかりした下級生が出てきてくれる事を強く望みますね。

Mitsuru Akiyama

2012 SCHEDULE

首都大学野球春季リーグ戦日程

- 4/21(土)・22(日) vs. 筑波大(大田スタジアム)
- 4/28(土)・29(日) vs. 日体大(サーティーフォー相模原球場)
- 5/ 5(土)・ 6(日) vs. 大東大(サーティーフォー相模原球場)
- 5/19(土)・20(日) vs. 明星大(土浦市営球場)
- 5/26(土)・27(日) vs. 東海大(平塚球場)

年間スケジュール

- 4~5月...春季リーグ戦
- 6月...全日本大学野球選手権
- 8月...新入生セレクション(予定)
- 9~10月...秋季リーグ戦
- 11月...明治神宮大会
- 2013年2月...春季キャンプ
- 2013年3月...オープン戦

ACCESS



・東京モノレール 流通センター駅より徒歩15分
 ・JR大森駅東口から京浜急行バス「平和島循環」「京浜島循環」で「倉庫センター」下車徒歩10分



・JR湘野辺駅南口よりバス「湘野辺公園」下車
 ・JR相模原駅南口よりバス「湘野辺公園」下車
 ・小田急線相模大野駅北口よりバス「湘野辺公園」下車



・JR土浦駅東口より徒歩6分



・JR平塚駅より徒歩20分
 ・JR平塚駅北口よりバス4番線「平塚球場」下車



Fighting

Spirits

2012





Ittetsu Yamauchi

山内一徹

Interview!

帝京大学硬式野球部
キャプテン

今、野球ができることは
当たり前なことではない

「感謝」。インタビュー中、キャプテンの山内徹は何度もこの言葉を口にしました。
瞬く間に過ぎ去る大学4年間で支えるのは、自身の強い気持ちと、
周囲の人たちだということを山内は知っている――。

2011年3月11日、14時46分。
帝京大学硬式野球部主将の山内一徹は、外
出先の埼玉でそのときを迎えた。
「地面が」大きく揺れて、電車も止まって、そ
こから寮に帰れなくなりました」
宮城県東南東沖の海底を震源とした東北地
方太平洋沖地震は、帝京大学硬式野球部にも
被害をもたらした。部員の中には実家を津波で
流された者や、被災した家族や友人が行方不
明になる者も数名出ていた。

出ました。でも、自分たちは今、学生でこ
に何をしに来たのか、硬式野球部員として今
何をすべきかを考えたときに、自分たちがで
きることを精一杯やろうと自分は考えました」
それが日頃の学生生活であり、大学野球だった。
前主将の多田圭吾は、若手県の出身で実際
に家族が被災していた一人だった。しかし、彼
は実家に戻ろうとは考えず、毅然とした態度
でチームメイトを引っ張り、昨年4月9日の開
幕戦を迎えた。



「多田さんからは、来年はお前が主将だから日
頃から意識して生活をしろと聞かされていまし
た。今まで通りのお前のプレーをやっていたら
周りが付いてくるからとアドバイスももらい助
かりました」
前主将は後輩思いで人望も厚く、そして何
よりチーム全体のことを考える先輩だった。

山内はその先輩の背中を見て、あることを感
じていた。
「自分も背中で周りを引っ張っているような
主将になろう。もう少し周りのことを見られ
る人間になろう」

山内のポジションは捕手。周囲を見る洞察
力はプレーの面でも重要な。
「大学に来てからはリードの幅が広がって考
えることが多くなりました。次の打者や試合
全体のことまで考えて配球するようになりま
した」

投手陣の投球練習では、時間が許す限り、
自分でボールを受け、練習の合間を使ってボ
ールのキレや投球フォームの修正など気が付いた
ことをアドバイスする。普段からバッテリー間
の息を合わせることで、試合中の配球ミスを
極力減らそうと考えているのだ。

昨春秋に行われた関東地区大学野球選手権
大会2回戦の創価大学戦では、たった1球の
配球ミスがチームの敗戦につながった。
「その前の2、3球で相手のバットが出てきて
なかったで：内角球で詰まらせるイメージで
サインを出したんですけど、それが甘く入って
しまっただけ……」

最上級生になった2012年はそうした後
悔をしたくない。そのためにも時間にメリハリ
をつけて、ひとつひとつのプレーを大切にしま
いと話す。

「チームのスローガンにもしているんですけど、
自分が心がけているのは『感謝報恩』という言
葉です。震災のこともありましたが、自分た
ちが今、野球ができることを当たり前前のこと
のように感じるのではなく、そのことに感謝を
しながら、支えてくれる周りの人たちに何らか
の形で返していく。そこを強く意識したいです」
その視線はリーグ戦優勝を飛び越え、昨年叶
わなかった神宮での全国優勝を見据えている。

対照的な二人の副キャプテン

「静と動」はまた「陰と陽」とも言えようか。帝京大学硬式野球部の副主将、瀧亮也と長崎治朗はどこまでも正対の二人だ。
「長崎はひょうきんな性格ですが、根はしっかりして、周りに気配りができるタイプ。瀧は、羽目をはずさないというか普段からすごく真面目で先輩の手下になるタイプ。二人はまるで正対の存在ですね」

主将の山内一徹も二人の性格について、そう話す。プレースタイルも二人はまるで違うタイプだ。昨年はチームで五番を任されていた瀧は、バットを握り短く持ってミートを心がける「繋ぎの五番打者」タイプで、一方の長崎は、昨年のリーグ戦で6盗塁を決めた成績が語るように、足でかき回すタイプだ。
「自分は長打を狙うタイプじゃないので、ミートを意識して打席に立っています。バットも他の選手よりだいぶ短く持ってコンパクトに振る。意識としては引張るのではなく、逆方向へ流す感じですね」(瀧)

「自分はそこまで足が速くないので、相手投手の癖をビデオで何回も見て研究します。あと試合前のアップでもダッシュで最後まで力を抜かないで走るよう心がけています」(長崎)

明るい性格の中でもオンとオフの切り替えをしっかりとっている長崎。得意な足を使ってチャンスメイクをする彼は、まさにチームのムードメーカー的な存在で、昨年のプロ野球ドラフト会議で注目を集めた東海大・菅野智之からも、続けざまに二盗、三盗を決めるなど果敢に盗塁を仕掛けた。
瀧は、責任感が強くチーム内でも一、二を争うほどチャンスに強い。

「性格については自分でもまあ真面目だと思えますね。普段の生活でも、他の手下になるよ

チームを裏から支える学生コーチ

「チームの結果が自分たちの結果だと思っていています」

三年生の学生コーチ渡邊諒介は、自分に言い聞かせるようにそう言った。昨年に選手生活に区切りをつけて、学生コーチとして再スタートを切った。チームのために、そして将来の自分のために、少しでも前に進もうと学生コーチという他の同級生とは違う道を選んだ。
「最初は踏ん切りがつかなくて、高校時代の同級生にも相談をしました。その同級生は高校の野球部で自分と一緒にやってきた仲間で、今は選手を引退して、大学生をしながら母校の日大藤沢高でコーチをしています」

もともと先輩に教えたりするのが嫌いではなかった。将来は野球の指導者になりたいという夢も持っていたから、学生コーチの打診を受けたときも前向きには考えていた。

「最初だけ気持ちの整理を付けるのが難しかったんですけど、同じ(当時)二年生の境井将樹が自分と同じシートのレギュラーをとったのが何だか嬉しくて、そのときはもうサポートに回るっていう気持ちが強くなりました」

練習試合では「塁ベースコーチを務めるなど、その振る舞いは最上級生かと思えるほど堂々としている。

「やるからには今までの学生コーチの先輩方を超えられるようにしたいです。最終的には自分の発言・行動でチームを動かしたい」

卒業までの二年間を将来の夢の準備期間として一歩ずつ歩み続ける。

もう一人の学生コーチである大内直人は、渡邊より学年がひとつ上の四年生だ。学生コーチに就任したのは渡邊より少し後の、秋のリーグ戦が終わったところだった。もともとは下級生な

副キャプテン



副キャプテン 瀧 亮也

選手として自らもグラウンドに立ちながらチームを鼓舞する副キャプテン。一方、学生コーチは裏方としてチームを支え、選手の底上げを図る。頂点を目指すチームに欠かせない存在だ。

副キャプテン



副キャプテン 長崎 治朗

学生コーチ



学生コーチ 大内 直人

学生コーチ



学生コーチ 渡邊 諒介

Empower for Team

チームを勝利に導く4人の男たち

「意識して取り組んでいます」(瀧)

瀧がこうした考えになったのは、彼の母校である志学館への恩返しの部分がある。
「高校の監督にお世話になって、帝京大学に入ってもらいまして。自分がこの学校でしっかりやることによって、これから入る後輩にもつながって行く。これから帝京大学内でも、そうした考えの選手が増えていけばいいと思います」

社会に出れば、帝京大学硬式野球部のOBとして見られる。そのときに恥ずかしくない振る舞いをするのが自分にとって、そして母校に残した後輩にとっても、大事なことで分かっていて、自分に対しても厳しく律することができる瀧は、大人の野球を目指す大学野球部員の模範となる選手だ。

「昨年の主将だった多田さんはみんなの意見を取り入れるなど気配りができる先輩だったので、自分も多田さんのような存在になろうと思っています」

と話すのはもう一人の副主将である長崎だ。「特に挨拶は大事にしています。当たり前のことですけど、目配り、気配り、その当たり前なことをしっかりとやるというのは社会に出て大切なので、そこは後輩にも言います」

普段はあまり後輩に口煩く言うタイプではない長崎。しかし、礼儀と挨拶の基本部分に関しては来訪者からの帝京大学硬式野球部の評価にもつながるため、徹底して言う。
「プレースタイルも性格も違う二人だが、帝京大学硬式野球部にかける思いは同じだ。」

「二人ともしっかりとっているんで自分がいなくても大丈夫ですね」
そう話す山内主将の表情からも二人に対する信頼が感じられる。主将、副主将、三人が手を取り合って作って行く2012年の帝京大学硬式野球部。その未来には明るい陽がさしているように思えた。

がらベンチ入りするなど、選手としても期待されていた大内。監督から学生コーチの打診を受けたときは、渡邊以上に複雑な思いだった。
「昨年の夏ごろに一度、監督から学生コーチを考えてみないかという話をいただきました。そのときは保留したんですけど、秋が終わって新チームになったとき、学生コーチになる人間がひとつ下の渡邊しかいなかったの、いろいろと考えて引き受けることを決めました」

高校は神奈川県相模原総合。高校時代の顧問からはまだ選手を続けた方が良くいんじゃないかと、選手生活を惜しむ声をかけられた。「でも、最終的には学生コーチをすることで、将来につながれば」(大内)

やるからには、心をすぐに入れ替えた。「学生コーチをやってみて感じたのは、チームを動かす難しさですね。教える立場に変わって、どう選手に接すればいいか難しく感じました」

昨年まで主務を務めていた上條大貴(2011年度卒業)とは、教職の授業で一緒にいることが多く、裏方の仕事の進め方や、学生コーチの心得を聞かされた。

「監督や秋山コーチの行動をしっかりと見て、考えて動いた方がいいと教えてくれました」

学生コーチは精神的にも大変な面があるが、それでも大内は楽しい面の方が大きいと話す。「やりがいも感じていますし、選手たちは自分たちより厳しい練習に耐えていますからね」

その表情からはフォアサチームの精神が感じ取れる。

「自分はこのスタッフよりも一本でも多くノックを打つことを日々心がけています。今まで中学、高校、大学と全国大会出場とか優勝に縁がなかったので、日本一になって、最後を締めくくりたいです」

ノックバットを片手に誰よりも大きな声を出している大内の姿がそこにあった。

vs. GIANTS

プロアマ交流戦
2012.3.14 神奈川県海老名総合グラウンド

EXCITING!



スターティングメンバー

帝京大学	読売巨人軍
8 竹松	9 橋本
DH 永野間	6 荻野
4 瀧	3 福本
5 高木	7 田中大
3 齊喜	DH 鬼屋敷
6 境井	2 河野
9 橋本	5 高橋洸
2 木南	8 財前
7 長崎	4 和田

投手 リー 帝京大 加美山(5回)-石川(2回)-青柳(1回)-西村(1回)
読売巨人軍 岸(4回)-リン(2回)-宮本(0/3回)-成瀬(1回)-土本(1回)

本塁打 帝京大 高木(1回・岸)



1 5回2安打無失点と好投した、先発の加美山晃士朗。2 初回、本塁打でチームに勢いをつけた高木克弥。3 2回無失点と危なげない投球を披露した石川健。4 一年生の青柳晃洋。5 最終回無失点で守り抜いた一年生の西村天裕。

昨年から単体の大学とプロチームの交流戦が解禁となった野球界。2年目となる今季は帝京大学も読売巨人軍若手(ファーム・育成選手中心)と対戦し、互いの技術交流を図ることができた。帝京大学の先発を任されたのは四年生の左腕、加美山晃士朗だった。

「プロと当たれるせっかくのチャンスなのでこの場を楽しもうと思った」という加美山は、初回から低めにボールを集め、ジャイアンツ打線を5回2安打無失点に封じ込む。「今日は変化球が決まって、内野ゴロを打たせることができたし、フィールディングも相手の送りバントを刺すことができたので良かったです」と、テンポ良く投げ

2番手で登板した石川健も走者こそ出したものの、慌てない投球で2回を無失点に封じる。終盤の2回は期待の一年生、青柳晃洋と西村天裕がそれぞれ1イニングを無失点に抑え、プロ相手に完封勝利を飾った。

試合後、唐澤監督は「今の試合と同じ気持ちでリーグ戦を戦うように」とまずは勝利した選手たちを称えたが、「この試合に勝つことが君たちの目標じゃない。君たちの目標はあくまで4月14日から始まるリーグ戦で勝つことだから」と選手たちの気持ちを引き締め、「ユニフォームを着ている者だけがやっているわけじゃないから、試合に出られなかった者も心と体の準備をしておくように」と、チーム全体の士気を高めることを忘れなかった。

OB会長 宮台 俊郎

私のチームとの携わりについてですが、監督に頼まれば、就職口を探したり、選手のピッチングを見たり、練習のサポートもします。卒業後は、選手たちはどうしても社会人チームで野球をやりたいとかプロでやりたいとか野球を追いかけようと思いますが、将来自分は社会に出て何が一番やりたいのかを、大学での4年間で本気で考え、過ごしてもらいたいと思っています。

もちろんプロや一流の社会人チームでプレーができる選手なら野球を続けるという考えでも良いのですが、クラブを持っていて時間より、クラブを置いてからの時間の方がずっと長いわけですから、大学の4年間で自分が将来、何の仕事をしたいのか考えるべきなんです。

私が学生のときも、野球は大学までと決めていました。当時、社会人野球からいくつか声をかけてもらっていて、そこからプロに行くという選択もありましたが、私の場合は長男でしたし、将来は実家の後を継ぐという役割があったので、だったら卒業後は野球を辞めよう、と、そんな感じでした。

今の学生に伝えたいのは、大学に入った以上、メンバーに入る、入れないは関係なく、きちんと野球と勉強を続けてもらいたいということ。また大学の4年間というのは、他の大学の学生と比べて出会う機会があるんですよ。これが一般社会に出て、働き始めたときにすごく役に立つんです。私自身もそうでしたけど、手助けをしたり、してもらったり、生涯の友になることが多いです。だからこそ大学にいる4年間でそういう友達をたくさん見つけて、野球をやる以上の価値を見出してもらえたらと思いますね。



みやだいとしろう
1949年生まれ。神奈川県出身。法政二高→帝京大。帝京大学硬式野球部の二期生で、選手と監督ふたつの肩書きで首都大学リーグ優勝を経験している無二の存在。現役時代は投手兼内野手として活躍し、当時の首都大学リーグ最多安打を記録。首位打者も獲得した。現在はOB会長としてチームをサポートしている。

大学の4年間は、一生の仲間作りと将来のことを真剣に考える期間

手生活は卒業した学生たちですけど、彼らはものすごく良い勉強をしていると思います。クラブの仕事を通じて人を動かす難しさを感じるだろうし、雑用を嫌な顔せずできるように頑張る機会が多いですよ。これは本当に良い経験になると思います。

人生で成功する人、しない人の違いはやはり、誠実さではないでしょうか。性格にむらがある人と、人間関係にどうしても摩擦が起きます。帝京高校の監督をしている前田は私の同級生なのですが、帝京の職員からコーチに就任して、それから監督をやることになって、最初はがんばり過ぎてしまったでしょう。選手が4人しか残らなくなってしまうんです。けれど、めげずに自分で選手を探したりして、情熱を持ち続けて取り組んだから今があるわけです。大学で一流の選手ではなかった人間があそこまで登り詰めるのも、信念がないとできないと思いますよ。

OBとして、学生たちには愛情を持って接していきたいと思っています。そうすれば、相手にも必ず伝わると思いますし、監督やコーチにもこれからの愛情を持って取り組んでほしいですね。

帝京大学硬式野球部 卒業後の主な進路

OBが進んだ独立リーグ

北信越BCリーグ
(石川リオンスターズ、富山サンダーバズ)

社会人野球へ進んだOBの就職先

朝日生命、いすゞ自動車、王子製紙苫小牧、河合楽器、鷺宮製作所、新日本製鐵君津「かずさマジック」、新日本製鐵名古屋「東海REX」、住友金属鹿島、東京ガス、東芝、日産自動車、日産自動車九州、日本IBM野洲、日本新薬、日本石油、日本通運、ニチダイ、日立製作所、七十七銀行、富士重工、松下電器、ミキハウス、明治安田生命、三菱重工名古屋、ヤマハ、ローソン、JR東日本、JR東日本東北、NTT西日本・相模原クラブ、茨城ゴールデンゴールズ、熊本ゴールデンラークス、バイタルネット、ヒタチエクスプレス、シティライト岡山、王子製紙、ジェイプロジェクト、エナジェックほか

軟式野球へ進んだOBの就職先

佐藤薬品工業、京葉銀行、常陽銀行、東芝情報機器、旭鋼管工業、ベスト、キャプティ、日立厚木、青梅信用金庫、千葉銀行、城北信用金庫、リコーロジスティクス、静岡ガス、佐川コンピューターシステム、三洋電機、サンリツほか

プロ野球へ進んだOB

益山 性旭(1976年度卒→阪神・投手)
佐藤 康幸(1994年度卒→中日→広島→中日・スタッフ)
愛敬 尚史(1998年度卒→近鉄→東北楽天・投手)
里崎 智也(1998年度卒→千葉ロッテ・捕手)
窪田 淳 (1999年度卒→阪神→オリックス・投手)
山本 賢寿(2003年度卒→巨人・投手)

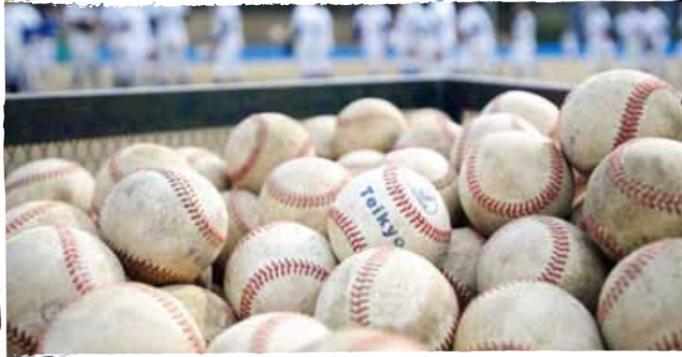
TOPIC

2009年度卒・末永が東日本大震災復興支援試合に社会人選抜として出場

末永 彰吾

すえなが しょうご
1987年6月16日生まれ。福岡県出身。175cm、70kg。右投右打。筑陽学園高校→帝京大学。

帝京大学硬式野球部OBの末永彰吾(NTT東日本)が、3月10日に東京ドームで行われた東日本大震災復興支援試合に社会人選抜として出場し、大学選抜を相手に1イニングを無失点に抑えました。今後ともご声援よろしくお願ひいたします!



TEIKYO SPIRITS





TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012 BASEBALL

INFIELDER
内野手
↓



皆川 健太 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
習志野高 / 千葉県出身
180cm・80kg / 右投右打



住吉 智司 [3年]
経済学部経済学科
駒澤大学高 / 神奈川県出身
180cm・80kg / 右投右打

CATCHER
捕手
↓



西村 天裕 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
和歌山商業高 / 和歌山県出身
176cm・85kg / 右投右打



Change for Players List Victories!!

2012年 帝京大学硬式野球部



高木 克弥 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
東邦高 / 愛知県出身
182cm・83kg / 右投右打 / 三塁手



横山 昇吾 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
横浜商業高 / 神奈川県出身
179cm・77kg / 右投右打



望月 隼 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
小平高 / 東京都出身
181cm・75kg / 右投右打



山内 一徹 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
日向学院高 / 宮崎県出身
170cm・72kg / 右投右打



谷林 広紀 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
平塚学園高 / 神奈川県出身
175cm・66kg / 左投左打



木原 立遥 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
星城高 / 愛知県出身
180cm・73kg / 右投左打



永成 凌 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
平塚湘風高 / 神奈川県出身
185cm・76kg / 右投右打



石井 陽平 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
日本大学第三高 / 埼玉県出身
180cm・76kg / 右投右打



穂山 類 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
二松学舎大学附属沼南高 / 千葉県出身
176cm・70kg / 左投左打

PITCHER
投手
↓



瀧 亮也 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
志学館高 / 千葉県出身
171cm・67kg / 右投右打 / 二塁手



大野 僚汰 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
南部高 / 和歌山県出身
176cm・84kg / 右投左打



柳澤 礼雄 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
銚子商業高 / 千葉県出身
178cm・80kg / 右投右打



大久 和馬 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
東洋高 / 東京都出身
179cm・75kg / 右投右打



高橋 駿 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
大迫高 / 岩手県出身
179cm・78kg / 右投右打



亀島 稜汰 [2年]
経済学部経済学科
富岡西高 / 徳島県出身
178cm・75kg / 右投右打



早川 英希 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
光明学園相模原高 / 神奈川県出身
175cm・77kg / 右投右打



川崎 克成 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
全沢市立工業高 / 石川県出身
176cm・72kg / 左投左打



石川 健 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
麻布大学附属野辺高 / 神奈川県出身
173cm・75kg / 右投右打



齊喜 拓也 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
帝京第三高 / 神奈川県出身
174cm・78kg / 右投左打 / 一塁手



笹野 将史 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高 / 千葉県出身
177cm・77kg / 右投左打



木南 了 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
千葉経済大学附属高 / 東京都出身
179cm・81kg / 右投右打



北口 真也 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
日本航空高 / 大阪府出身
185cm・90kg / 右投右打



後藤 大輝 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
桜町高 / 東京都出身
177cm・76kg / 右投左打



青柳 晃洋 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
川崎工科高 / 神奈川県出身
181cm・72kg / 右投右打



吉田 直矢 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
日本大学藤沢高 / 神奈川県出身
171cm・68kg / 右投右打



中村 一仁 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
藤嶺学園藤沢高 / 神奈川県出身
178cm・80kg / 左投左打



加美山 晃士朗 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
関西創価高 / 大阪府出身
177cm・70kg / 左投左打



梅田 薫紀 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
学法石川高 / 岐阜県出身
184cm・85kg / 右投右打 / 一塁手



柴山 悟 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
光明学園相模原高 / 神奈川県出身
175cm・102kg / 右投右打



小俣 駿 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
甲府工業高 / 山梨県出身
178cm・79kg / 右投右打



幸浦 公平 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
城東高 / 徳島県出身
176cm・72kg / 右投右打



末松 克章 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
習志野高 / 千葉県出身
180cm・63kg / 左投左打



坂田 昌隆 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
足立学園高 / 東京都出身
179cm・77kg / 右投右打



塚平 大貴 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
大和南高 / 神奈川県出身
180cm・65kg / 右投右打

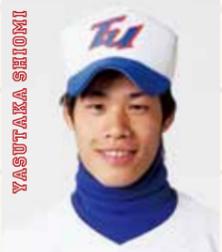


坂本 有佑 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
作陽高 / 岡山県出身
178cm・68kg / 右投右打



SHUTO SATO
佐藤 就登 [副務]
医療技術学部スポーツ医療学科1年
上宮太子高 / 大阪府出身
163cm・56kg

STAFF
スタッフ
↓



YASUTAKA SHOMI
塩見 泰隆 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
武相高 / 神奈川県出身
179cm・73kg / 右投右打



KOHEI HOSOKAWA
細川 耕平 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
弥栄高 / 神奈川県出身
176cm・74kg / 右投右打



KOHEI UCHIDA
内田 晃平 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
藤沢翔隆高 / 神奈川県出身
171cm・70kg / 右投左打

OUTFIELDER
外野手
↓



YOSHIAKI AKAGAWA
赤川 嘉基 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
市立松橋高 / 千葉県出身
175cm・75kg / 右投右打 / 遊撃手



IKKI HIRAGA
平賀 一起 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
甲府城西高 / 山梨県出身
184cm・70kg / 右投左打 / 二塁手・遊撃手



JUNPEI NAKAMURA
中村 淳平 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
岡山学芸館高 / 岡山県出身
176cm・76kg / 右投右打 / 三塁手



YUTA KAWANO
河野 雄太 [4年]
経済学部経済学科
相模学園高 / 神奈川県出身
176cm・76kg / 右投右打 / 一塁手



MASAE MORI
森 雅恵 [連盟マネージャー]
医療技術学部スポーツ医療学科4年
聖霊女子短期大学付風高 / 秋田県出身
159cm



NAOTO OHUCHI
大内 直人 [学生コーチ]
医療技術学部スポーツ医療学科4年
相模原総合高 / 神奈川県出身
172cm・73kg / 右投右打



KAZUYA NINOMIYA
二宮 和也 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
横浜創学館高 / 神奈川県出身
177cm・73kg / 右投右打



KYOJI INAMURA
稲村 恭司 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
八代東高 / 熊本県出身
171cm・77kg / 右投左打



HIROKI HASHIMOTO
橋本 大樹 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
鳥取商業高 / 鳥取県出身
180cm・74kg / 右投右打



JIRO NAGASAKI
長崎 治朗 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院大学附属高 / 東京都出身
173cm・76kg / 右投右打



LEO OGATA
緒方 礼央 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
弥栄高 / 神奈川県出身
174cm・75kg / 右投右打 / 遊撃手



YUKI OOTO
後藤 勇希 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
常総学院高 / 茨城県出身
182cm・88kg / 右投右打 / 一塁手



MASAKI SAKAI
境井 将樹 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
高田高 / 岩手県出身
180cm・75kg / 右投右打 / 遊撃手



RYOSUKE KANAI
金井 良輔 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
前橋育英高 / 群馬県出身
178cm・71kg / 右投左打 / 一塁手



SHUN KANAMORI
金森 駿 [連盟マネージャー]
医療技術学部スポーツ医療学科3年
一関学院高 / 東京都出身
175cm・65kg



RYOSUKE WATANABE
渡邊 諒介 [学生コーチ]
医療技術学部スポーツ医療学科3年
日本大学藤沢高 / 神奈川県出身
168cm・68kg / 右投右打



MASASHI MORIYA
森浦 将志 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高 / 大阪府出身
175cm・71kg / 右投左打



KEN MIYACHI
宮内 謙 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
埼玉栄高 / 埼玉県出身
163cm・64kg / 左投左打



SHOTA EGASHIRA
江頭 勝太 [3年]
経済学部経済学科
佐賀商業高 / 佐賀県出身
181cm・80kg / 右投左打



MIZUKI TAKEMATSU
竹松 瑞輝 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
折尾愛真高 / 福岡県出身
169cm・70kg / 右投左打



YUICHI TANABE
田辺 裕一 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
川崎北高 / 神奈川県出身
180cm・84kg / 右投左打 / 三塁手



YUTO KATO
加藤 勇斗 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
近江高 / 滋賀県出身
182cm・82kg / 右投右打 / 一塁手



YUTA NAKAMURA
中村 優太 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
宇和島東高 / 愛媛県出身
173cm・73kg / 右投右打 / 二塁手



HIDEAKI SUGISURA
杉浦 英明 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
上野東高 / 大阪府出身
181cm・65kg / 右投左打 / 三塁手



CHIHO FUTAKI
二木 千帆 [連盟マネージャー]
文学部心理学科2年
明星高 / 東京都出身
154cm



SHOTARO HIRATA
平田 翔太郎 [主務]
医療技術学部スポーツ医療学科2年
横浜隼人高 / 東京都出身
181cm・88kg



RYOKI NAGAYASU
長安 諒己 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
倉敷商業高 / 岡山県出身
176cm・72kg / 右投左打



TOKOKI OKUNO
奥野 友貴 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
PL学園高 / 大阪府出身
175cm・73kg / 左投左打



KOHEI MATSUBARA
松浦 航平 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院大学附属高 / 神奈川県出身
174cm・68kg / 右投右打



RYOTA KAKIMOTO
柿本 亮太 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
帝京第三高 / 神奈川県出身
178cm・78kg / 右投右打



YUTA FUJITSUGU
藤次 勇太 [1年]
経済学部経済学科
御殿場西高 / 静岡県出身
174cm・73kg / 右投右打 / 遊撃手



MAKITO TAGUCHI
田口 蒔人 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院大学附属高 / 神奈川県出身
184cm・81kg / 右投右打 / 三塁手



SHUN KOZAKAI
小坂井 駿 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
中越高 / 新潟県出身
178cm・75kg / 右投右打 / 遊撃手



KOUKI TATSUZUKA
立岡 孝基 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
上宮高 / 大阪府出身
168cm・70kg / 右投右打 / 二塁手



MASAHIGE YOSHIKAWA
吉川 正成 [4年]
医療技術学部スポーツ医療学科
相模原総合高 / 神奈川県出身
177cm・80kg / 右投左打



NAOSHI NISHIKAWA
西川 尚志 [1年]
医療技術学部スポーツ医療学科
広島商業高 / 広島県出身
174cm・70kg / 右投左打 / 三塁手



TAKU NAKANO
中野 琢 [2年]
医療技術学部スポーツ医療学科
岩倉高 / 東京都出身
172cm・70kg / 右投右打 / 遊撃手



RYO NAGANOMA
永野間 亮 [3年]
医療技術学部スポーツ医療学科
日本大学豊山高 / 東京都出身
176cm・70kg / 右投左打 / 三塁手



Change
for
2012年 帝京大学硬式野球部
Players List
Victories!!

硬式野球部施設紹介 Facilities of Teikyo University Baseball Club

硬式野球部が日々練習を重ねるのは、東京都の隣に位置する神奈川県相模原市。相模湖のそばにある緑豊かな中、野球に集中できる環境が整っています。野球部員としての練習、勉学、生活がこの中につまっています。

専用グラウンド



両翼93m中堅120mのリニューアルしたグラウンド

照明設備



8基の照明を完備。薄暮や夜間の練習でも使用することができます

室内練習所



4か所で打撃練習が可能。また5人同時に投球練習ができます



ベンチ



リニューアルされてきれいになったベンチ内

部長 **野尻久雄**

人間形成につながる4年間を

まず私は、野球が大好きです。私も学生時代、野球をやっていたのですが、たまたま帝京大学の薬学部助教として勤めることになりまして、近くに硬式野球部があったので、機会があれば一緒にやりたいなとずっと思っていました。硬式野球部の選手とは食堂などでよく会っていて、そのときの部員の礼儀正しさに惹かれるものがありました。そして、彼らと一緒に活動できたなら幸せだなという気持ちがありました。強くなって、教授になれば部長に就任できると思います。がんばって教授を目指しました。そして教授になった際に、冲永学長に直談判して部長に任命していただいたのです。

私は、「大学のために」という気持ちが非常に強いと思います。帝京大学は、私にとって職場であり、学生にとって母校。学校を盛り上げたいという気持ちと持っています。そして、硬式野球部を通してそれを感じました。私は監督でも選手でもありませんが、自分の仕事を通じて、硬式野球部を盛り上げ、最終的に帝京大学のためになればと思っています。

この相模湖の帝京大グラウンドは非常に恵まれた環境だと思います。昨年からリニューアルしてきれいになりましたし、ベンチを下げた

ことによりグラウンドが広くなりました。山の中ということもあるので、野球に専念できます。硬式野球部は大学として強化クラブのひとつですから、いわば大学の看板を背負っているようなものです。

唐澤監督は、とても情熱あふれる男です。彼は普段、合宿所で学生とともに過ごしており、家族のもとには週に1回程度しか帰っていません。そこまでできる人はなかなかいないと思います。私もその情熱を非常に評価しております。硬式野球部内にも、唐澤イズムが徐々に浸透してきていると感じます。

何よりも大事にしたいのは、信頼関係です。信頼を失うのは簡単だけど、得るのは大変です。だから相談に来てくれた選手には、誠意をもって接してあげたいと思っています。

スポーツの魅力は、勝利に向かってベストを尽くすことだと思います。そういう真摯な姿が見ている者に感動を与え、その裏には厳しい練習の積み重ねがあり、個人個人がベストを尽くすことによって成長します。またそれが人間形成につながると思います。

さらなる硬式野球部の飛躍に向けて、チーム一丸となってがんばります。



のじり ひさお
硬式野球部部长、
医学博士。
薬学部で生命薬学講座の
がん生物化学教室の教授を
務める傍ら、硬式野球部部
長としても活動している。

2011 RESULT

spring 首都大学野球 春季リーグ 結果

	東海大	武蔵大	筑波大	日体大	城西大	帝京大	結果
日体大	●○○	●○○	●○○	—	○○	○○○	10勝4敗①位
東海大	—	●○○	○○	○○●●	○○	○○	9勝3敗②位
武蔵大	○○●●	—	○○	○○●●	○○●●	○○	7勝6敗③位
帝京大	●●	●●	○○	○○●●	●○○	—	5勝7敗④位
筑波大	●●	●●	—	○○●●	○○	●●	3勝8敗⑤位
城西大	●●	●○○	●●	●●	—	○○●●	3勝9敗⑥位

autumn 首都大学野球 秋季リーグ 結果

	日体大	東海大	武蔵大	帝京大	筑波大	大東大	結果
東海大	○○	—	○○	○○	○○	○○	10勝0敗①位
帝京大	●●	●●	●○○	—	○○	○○	6勝5敗②位
日体大	—	●●	●△○○	○○	○○●●	●○○○	7勝6敗1分③位
大東大	○○●●	●●	●○○	●●	—	—	5勝7敗④位
筑波大	●○○	●●	●○○	●●	—	●●	4勝8敗⑤位
武蔵大	○△●●	●●	—	○○●●	○○●●	○○●●	4勝10敗1分⑥位

春季リーグ打撃20傑

打率	打者
.262	⑫ 瀧亮也
.231	⑰ 奥野翔麻

春季リーグ投手10傑

防御率	投手
1.66	④ 石川健
2.48	⑦ 栗山拓巳

秋季リーグベストナイン

一塁	梅田薫紀
三塁	高木克弥

秋季リーグ打撃20傑

打率	打者
.343	③ 瀧亮也
.263	⑬ 高木克弥
.250	⑯ 境井将樹

秋季リーグ投手10傑

防御率	投手
1.31	④ 加美山晃士朗

※個人成績は帝京大のみ掲載



車の場合(中央自動車道で)

- ・大月方面から
相模湖I.C.より合宿所まで…………… 約30分
グラウンドまで…………… 約35分
- ・東京方面から
相模湖東出口より合宿所まで…………… 約20分
グラウンドまで…………… 約25分



電車の場合

- ・東京駅～相模湖駅まで
東京駅～高尾駅(JR中央線快速)…………… 約80分
高尾駅からひとつ目相模湖駅下車(JR中央線)…………… 約80分
- ・相模湖駅～寸沢嵐バス停まで(バス)…………… 約20分
- ・バス停～帝京大学硬式野球部合宿所まで(徒歩)…………… 約10分
～グラウンドまで(徒歩)…………… 約10分

自ら考え、行動し、個性を発揮できる「自分流」な人材育成。
 自分の才能を見つけ、伸ばし、チャレンジできる大学。
 私たちは帝京大学です。

「自分流」で学べる10学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科／地域経済学科／経営学科／観光経営学科
- 【法学部】法律学科 【文学部】日本文化学科／史学科／社会学科／心理学科
- 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科／初等教育学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科／航空宇宙工学科／ヒューマン情報システム学科／
 バイオサイエンス学科／情報科学科(通信教育課程)
- 【医療技術学部】視能矯正学科／看護学科／診療放射線学科／
 臨床検査学科／スポーツ医療学科／柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科／作業療法学科

全国に広がる5つのキャンパス

- 八王子キャンパス／板橋キャンパス／宇都宮キャンパス／
 福岡キャンパス／霞ヶ関キャンパス



「めっちゃめちゃ悔しいですよ」。主将の山内一徹がその胸のうちをこぼしたのは、プロアマ交流戦の試合後のこと。プロ相手にどこまで自分が通用するのか、この日試合に出なかった選手は皆、同じ気持ちだったに違いない。4月14日から始まる春のリーグ戦で誰がメンバーに名を連ねるか、ハイレベルのポジション争いを期待しています。

TEIKYO UNIVERSITY
 SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2012
 BASEBALL

2012年4月12日発行

編集
 永田 遼太郎
 片山 佐知子(スリーライト)

撮影
 川本 聖哉
 志賀 由佳

デザイン
 橋本 悟(スリーライト)
 栗原 貴宏(スリーライト)

印刷
 スリーライト

発行
 帝京大学本部 広報課
 東京都板橋区加賀 2-11-1
<http://www.teikyo-u.ac.jp>

本誌掲載記事、写真等の無断複写・
 複製・転載を固く禁じます。
 © TEIKYO UNIVERSITY 2012

帝京大学 硬式野球部公式ホームページ



最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、硬式野球部に関する情報をお伝えしていきます。帝京大学 硬式野球部公式ホームページをご覧ください。

<http://baseball.teikyouniv.jp/>

■ From EDITOR

取材に訪れた3月16日、相模湖にある帝京大グラウンドで明治安田生命戦(春季オープン戦)が行われた。例年になく大雪のため、それまで予定していた試合はすべて対戦相手のグラウンドでの開催。久しぶりに自球場で試合をする選手たちの顔は、いつもにも増して輝いて見えた。ようやく、春を迎えた気分になった。(S)